

平成24年度 NPO支援基金助成団体・助成事業一覧

	団体名	助成額	事業名	事業内容
1	たすけあいワーカーズ さざんか	140,000	「松花堂弁当で元気に！プロジェクト」	子どもから高齢者まで集えるような「居場所」での食事提供の事業化めざし、健康づくりを念頭に置いたバランスの良い季節の献立を研究する料理講習会を開催する。松花堂弁当箱に盛り付けることで、分量の把握と盛り付け方についても学習する。
2	生涯学習 知の市庭	250,000	「被災地発 まさかの時、保存食をおいしく つくる、食べる」講座 ～生き抜く実践	被災地で生き抜く力を発揮した方々が伝える「まさかの時に役立つ台所防災術」や「自前流の防災グッズの便利な活用方法」について考える。起こり得る地震に備え生き抜くための、座学と実践調理講座を開催する。
3	すぎなみ栄養と食の会	300,000	市販食品の塩分量を知って、健康な食べ方を学ぶ料理講習会 常に備えよう「震災発生後3日間の食事自助の知恵と工夫」講演会、料理講習会、展示	外食・中食（持ち帰り食）は、塩分過剰なこと、それを体外に排出する役の野菜が少ないことなどを、計測を元に理解しながら、美味しい減塩食をつくる講習会を開催する。 大震災時の品薄の経験から、3日分の食を、栄養が揃うように備えるための講演や料理講習会、展示会を開催する。
4	善福寺水と緑の会	100,000	善福寺公園の樹木と善福寺川の関わりを考える	自然保護に関わる教育啓発活動を行う。特に樹木と水のかかわりに注目した観察会・講演会の開催。善福寺公園の樹木調査、樹木地図の作成とデジタル化に取り組む。また、毎木調査の成果発表会・実習を企画・推進する。
5	生態工房	300,000	玉川上水における 外来生物アライグマの生息調査事業	杉並区内の玉川上水中流部におけるアライグマの生息状況を調査することで、外来種のアライグマによる被害を予防し、玉川上水における生物多様性の保全を図る。
6	東京海難救助隊	81,600	体験航海と東京湾の環境学習	東京湾の環境について学習し、環境保全に役立てる。港湾施設の役割を理解するために、東京湾を小型船舶で航行し、海から見ながらその役割を説明したり、プランクトン等を採取・観察して、海食物連鎖等の学習を行う。
7	ハウンドツウース スポーツクラブ	100,000	スポーツを通じた地域の次世代育成事業	地域コミュニティ形成や若者の地域社会への参画促進のために、スポーツを切り口として、仲間づくりや地域活動に参加する仕組みを作る。 また、特別支援学級に指導者やボランティアを派遣し、体を動かす楽しさやチームワークの大切さを通して目標や夢を持つ心を育て、障がいがある児童の自立を支援する。
8	P.R.O	300,000	専門家による各種相談会の開催事業 専門家による各種セミナー ・教室の開催事業	消費者保護を図るために、税理士や弁護士、司法書士といった士業が中心となり、相談会やセミナー等の開催を行う。
9	円農あたい	300,000	食のあり方を学ぶ料理講座 食と農の実情を学ぶための体験学習講座	旬の無農薬野菜を調理し食べることで、生きることは食べることの根幹を学び、地域の人とのふれあいの場を作る。 米や野菜作りを通して、食と農を取り巻く様々な課題を体験的に学び、都市在住の消費者間の地域コミュニティを形成し、豊かな社会への布石とする。
10	一休会	300,000	成年後見制度普及啓発事業（出前講座）	認知症高齢者や知的障がい者等が安心して暮らせる地域社会となるよう、区民に向けて成年後見制度の普及や利用啓発を図り、市民後見人養成事業に繋げていく。
11	日本シニア インターネット支援協会	300,000	インターネットの基礎知識を学ぶ勉強会 インターネットを活用するための 先端知識を学ぶ講演会	インターネットの活用には慣れない中高年齢層を中心に、インターネットの活用方法の勉強会をはじめ、各種セミナーなどを開催する。 デジタルデバイドの解消とインターネットの積極活用が図れるよう活動する。
	合計	2,471,600		